

かじおか香織のマニフェスト特集号

第1弾

① 安定とチャレンジに溢れた成熟したまちへ

守谷市は、2020年前後をピークに人口が拡大し、以降は次第に人口の増加スピードは緩やかになります。このことは、守谷市の地域コミュニティが円熟していると言えます。これからは地域社会の円熟に合わせた、子ども達・働き世代・シニアの方々へのバランスのとれたまちづくりが必要です。

② 税収増の限界とふるさと納税の不透明さ

人の動き、そして、国財政を見ると、これ以上税収が順調にのびるとは言い難いです。この状況はハード整備の投資的なことが難しくなることが想定されます。対して、ふるさと納税に期待する動きもありますが、昨今の状況は決して楽観的ではありません。昨年10月に制度が改正され、返礼品などに関して新規に制限がついたことは記憶に新しいところです。つまり、ふるさと納税の制度が未来永劫続くことが期待できない状況では、限られた税収の中で賢くお金をやりくりする仕組みが必要です（ワイズスペンディングと言われます。）。

③ 市民全体が幸福度（Well-being）を感じることがあるまちへ

そこで、この中で目指すべきまちづくりの目標は幸福度（Well-being）向上とすべきです。幸福度（Well-being）とは、政府等も採用している「Well-being＝持続的で内面に深く根ざした幸福（精神・身体・社会）」のことを指します。一人一人の心のありように直結するものになります。

人々の幸福は、かならずしもGDPに代表される経済成長だけに規定されません。経済成長をすすめることは、市民は金銭面で何らかの恩恵を受けます。しかし、経済的格差、環境破壊、健康、地域コミュニティの崩壊などで何かしらの悪影響を被ることも想定できます。そこで、市全体として、社会的な目標としての「幸福」、「心の豊かさ」を目指すことが重要です。

④ 4つの幸福度を支える動き～安心安全そしてやりたいことを実現できるまちへ

市民全体が幸福度を感じることができるようにするため、4つのまちづくりを進めます。

① やりたいことがある、やりたいことができるまち

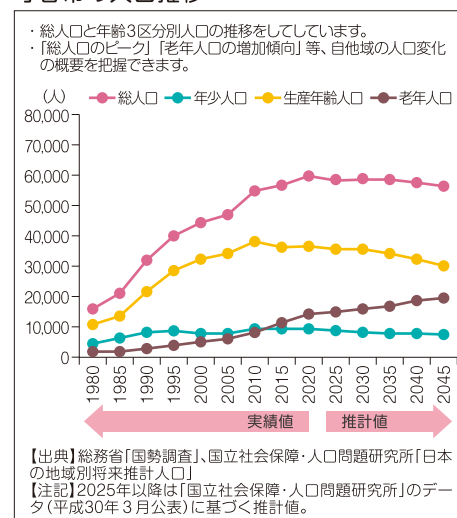
② 生きがいがある、生きがいを感じるまち

③ 自分を大切にしてくれる人がある、自分にとって頼れる人があるまち

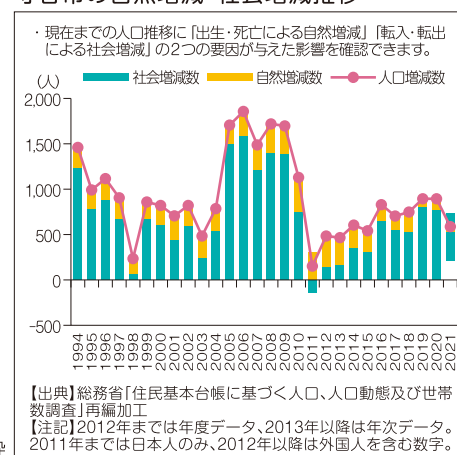
④ 自分にとっての居場所がある、自分だけの役割があるまち

※グラフは <https://resas.go.jp/#/13/13101> より抜粋

守谷市の人口推移



守谷市の自然増減・社会増減推移

完全
無所属2歳の娘
の母

守谷市議会議員

かじおか
香織

民間企業17年の経験と女性管理職の実績を活かし、2歳児の母親としての視点から、子育て世帯に選ばれ続ける守谷を目指し、安定財源を確保したうえで、安全安心の高齢者福祉を実現します。

今こそ、
流れを変えるとき！

幸福度日本一のまちづくり宣言

① やりたいことがある、やりたいことができるまち

② 生きがいがある、生きがいを感じるまち

③ 自分を大切にしてくれる人がある、自分にとって頼れる人があるまち

④ 自分にとっての居場所がある、自分だけの役割があるまち

守谷市の誰もが幸福度を感じることができるよう、4つのまちづくりを進めます。

Profile

- 昭和57年1月3日生まれ
- 両親ともに公務員の家庭で育つ
- ひかり幼稚園（守谷市本町）卒業
- 取手市立永山小・中学校卒業
- 茨城県立土浦第一高等学校卒業
- 東京女子大学 文理学部 英米文学科卒業
- 元常陽銀行守谷支店 支店長代理
営業成績を評価され、13期連続で頭取賞を受賞し、最短で支店長代理を拝命
- 2022年に第一子が誕生し、子育て奮闘中

女性市長と
新しい守谷をつくる会

〒302-0109 茨城県守谷市本町 257-5
TEL：0297-38-5593
FAX：050-3145-2882
E-mail：office@kaori-moriya.com
Web：https://kaori-moriya.com

かじおか香織に共感してくださる方、ご支援してくださる方を募集しております。詳しくは下記のお電話・LINE・HPよりお問合せください。

QRコードから各種SNS
にアクセスできます。

討議資料

守谷市を幸福度NO.1にするための
安心とチャレンジの政策集



かじおか香織が
みんなと目指す

守谷市の 未来地図

ずっと住みたくなるまちへ

1 やりたいことがある、 やりたいことができるまち

【生涯学習】

- ・公民館/コミュニティセンターなどを活性化させ、まちの中核としての活動の促進
- ・コミュニティスクール/夜間中学などの多様な学びの場の検討

【行政改革】

- ・一般職職員・若手職員・女性職員がやる気が高まる評価制度・給与制度・組織づくりの推進
- ・予算・決算に連動した行政評価制度を確立し、必要な施策に適切な資源が投入できる仕組みの設定
- ・DXなどを活用した市民参加・市民対話の推進
- ・「若者議会」（仮）を設置し、若者自らが地域のあり方を考え、地域づくりをすすめることができる仕組みの構築

【環境】

- ・太陽光・風力・地熱などの自然・再生エネルギーへのより一層の移行
- ・行政施設及び各種民間建物のZEB(ゼロエネルギービル)化の推進

【産業】

- ・中小企業の事業承継・販売力強化の支援強化
- ・担い手育成、マーケティング、販売力を促進することでの農林業などの第一次産業の振興
- ・GX、DX等に対応した中小企業における人材育成
- ・テレワークなどの働き方改革の推進

2 生きがいがある、 生きがいを感じるまち

【駅前開発】

- ・守谷駅前送迎保育ステーションの設置
- ・駅そばに（仮）もりやメディアセンターの設置
- ・守谷市の規模にあった文化ホール等の公共施設の検討
- ・駅前市役所出張所（仮）の設置
- ・要望の多い自習室の設置

【公共交通】

- ・守谷駅周辺の乗りやすいバスロータリー整備の検討
- ・自動運転バスの導入、デマンドタクシーの拡充、ライドシェアの試行、AIなどを利活用した無料循環バスなどの多様な公共交通体系の構築

3 自分を大切にしてくれる人がある、 自分にとって頼れる人があるまち

【学校教育】

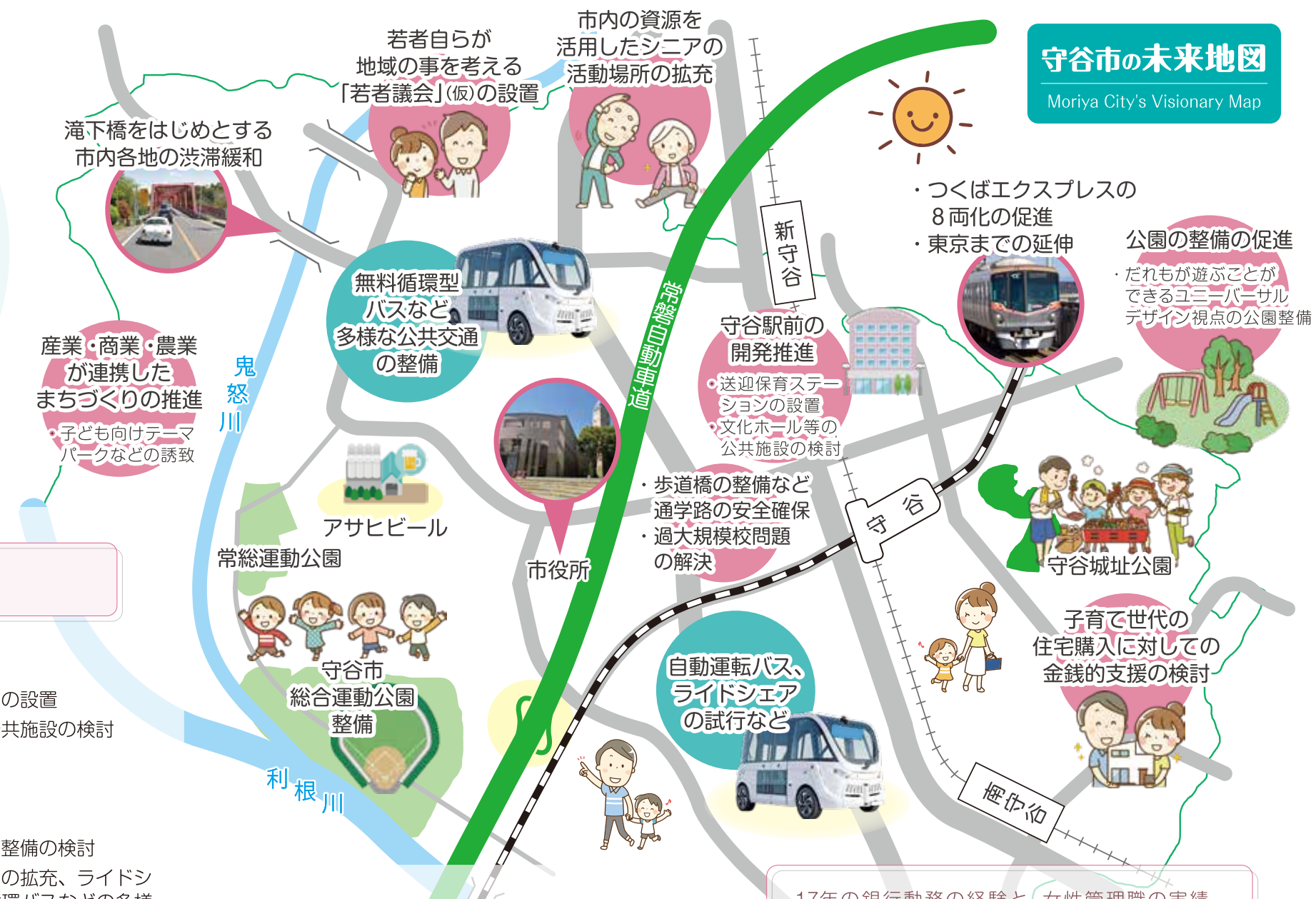
- ・カウンセラーなどを増やし、保護者が相談できる取り組みの強化
- ・専門機関が連携した、こども一人一人に向き合った支援の取り組みの強化
- ・DXなどを活用した安心な通学路の計画的整備
- ・柔軟な施設整備を通じた過大規模校問題の解決

【子育て支援】

- ・給食費及び教育に関する様々な金銭的負担無償化の推進
- ・こども医療費助成の拡大およびこども医療費無料化の推進
- ・所得に合わせた保育料の見直し
- ・DXなど活用した短期的な子供預かり制度の推進

【医療】

- ・平日夜間とわず利用できる緊急医療体制の整備
- ・感染症発生を想定した医療体制の柔軟な構築



守谷市の未来地図 Moriya City's Visionary Map

4 自分にとっての居場所がある、 自分だけの役割があるまち

【高齢者支援】

- ・市内にある様々な資源を活用したシニアの活動場所・機会の拡充
- ・高齢者の介護予防などのフレイル対策の強化
- ・未病を目指し、各種検診事業の強化
- ・モコバス70歳以上無料など高齢者の足の確保の推進

【地域づくり】

- ・子育て世代の住宅費購入に対する金銭的支援の検討。特に、みずき野・北団地等を想定し、市内全体の活性化の推進
- ・だれもが遊ぶことができるユニバーサルデザイン視点での公園整備の促進
- ・野木崎地区については、産業・商業・農業各分野が連携したまちづくりの推進。特に、連携を象徴する施設として、子ども向けのテーマパークなどの誘致
- ・駅周辺以外の地域にも子育て世代の定住、そして、免許返納者の日常の足を確保するために、無料循環型バスを整備するなど、市民のニーズに寄り添った公共交通網の推進

【防災】

- ・防災・防犯施策の拡充による安心して暮らせるまちづくりの推進
- ・市内全域での防犯カメラ・防災無線の整備
- ・自主防災組織・消防団などの活性化へ向けた活動支援

17年の銀行勤務の経験と、女性管理職の実績を活かし、2歳の母親の視点を活かした、誰もが幸福度を感じることが
できるまちづくり
を目指します。

